

項 目	内 容
開会 14:00～	欠席者 委員6名
会長あいさつ	会長 あいさつ
第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画 令和3年度評価について	<p><b>議題1 第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画 令和3年度評価について</b> (説明:事務局)</p> <p><b>【要点】</b></p> <p>現在実施している第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画は、以前の計画である第1期稲美町子ども・子育て支援事業計画から引き継いだ施策や事業を記載している。各年度に実施した施策や事業について、翌年度に評価を行っている。令和3年度についても、計画に沿って子育てに関する施策や事業を各課において実施している。内容は全部で16分類、42項目あり、その中から大きな動きのあった2つの事業を取り上げて説明する。</p> <p>まず、令和3年度の大きな動きとしては、令和3年5月から「いなみっこ広場」がオープンし、子育て支援だけでなく異世代間交流の拠点となっている。この変更に伴い、コスモス児童館、子育て支援センターを閉鎖し、いなみっこ広場に集約しており、その旨の修正がメインとなっている。</p> <p>3 ページ「⑦育児について気軽に相談し、広く情報を取得するために」の「親子で集える場の充実」の項目。いなみっこ広場になり、就学前児童の親子を対象に遊戯室を自由開放し、年間のべ13,640人の利用があった。また歳児別教室などの各種事業を実施し、親子交流の充実を図り、年間のべ16,909人の利用があった。</p> <p>続いての大きな動きとしては、6 ページ「⑩子どもの安全に配慮された地域社会を形成するために」の「子どもが安全にのびのびと遊べる公園等の整備」の項目で、令和3年度に稲美中央公園の改修工事が行われ、遊具やトイレ、駐車場等のリニューアルを行った。</p> <p><b>【質疑応答】</b></p> <p>(委員)</p> <p>「いなみっこ広場」ができ、すごくお世話になっている。一方で、コスモス児童館の今後の利用方法について検討されているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在は、今後の活用方法について検討している段階だと思われる。</p> <p>(委員)</p> <p>2 ページ「⑤障がいのある子どもへの支援充実のために」について、最近うちの子どもを放課後デイに入れたくて探したが、町内の5つのデイがいっぱいだった。また、加古川にも連絡してみたが、稲美町は送迎してもらえないとのこと。発達障害の方に対する理解の促進とあるが、稲美町で放課後デイが利用しづらい現状は把握されているのか。また、デイの誘致など必要な支援が受けられるようにという動きはあるのか。</p> <p>(委員)</p> <p>(所管課の委員欠席) 本サービス内容自体は、利用される方の要望に沿うよう計画相</p>

談支援の方がいろんな事業所を当たっていただく仕組みにはなっていると思う。町内でもっと受け皿があればいいなという意見かと思われるが、おそらく広域の情報をご存知なのが計画相談支援の事業者であるため、そちらももっと連携を密にし、よりの確なサービスを提供したいと考える。

(事務局)

事業所ということもあり、経営の面からもノウハウが結構大変で、なかなか来ていただけない状況が続いているとのこと。

(委員)

町内には5つの放課後デイサービスがあるが、拡充のために町の予算を充てることは難しいのか。

(事務局)

既にある程度は、県や町の予算を使って運営されており、行きたくても行けない子どもの解消を目指している。事業を実施するには必要な設備やある程度の事業所規模が必要であるため、限られるのが現状である。

(委員)

放課後デイをどんな人が利用されているのか。事業所である以上、町外の子どもの受け入れもあると思うが、稲美町に事業所があるため、何割かは稲美町の子どもの受け入れといった規約はないものか。

(事務局)

密着型ではないため、限定はできない。(反対は広域型) 基本的にデイは広域で開設されており、稲美町の子どもの町外の施設を利用できるし、その逆もある。

(委員)

待機されている児童は、どれくらいおられるのか。

(委員)

少し前に開設しようとしてされていた方から「県の申請がなかなか下りない」と聞いている。今は全体的に発達障害と診断される方が増えてきている。時期によってはいっぱい、途中の時期だったら4月まで待たないといけなと言われてこられる方は多いように思う。

(委員)

現状、「1年も待たないと」という相談は今まで受けてはいない。デイサービスも事業者さんによって学習支援や、運動面に特化といった、事業所ごとに特色がある。事業者の特色と利用者の要望、家や小学校からの距離等を加味して提案させてもらっていると思う。

(委員)

5ページ「⑫地域の子育てネットワークを構築するために」の「地域子育てネットワーク事業の充実」に関して、下校時の見守りを高齢の方がされているのをよく見る。信号や横断歩道のところで旗を持って立っていただいているのは町からお金が出ていると聞いたが、子どもたちと一緒に下校していただいている方たちは完全にボランティアだと聞いた。付いて帰ってくださる方に対して今後も何もなくていいのか？

(委員)

下校時の見守りに関しては、新しい地区と昔からある地区で、地域によって差がある

ことは承知している。今のところ「見守りの方に町として手当を」ということは考えておらず、交通指導員に関しては、教育課で予算を取り、危険個所に優先的に立たせていただいている。

(委員)

下校見守りは、民生委員と民生委員協力委員が月に1回だけだが第2火曜日にさせてもらっている。

(委員)

指導していただいているので本当に助かっている。

(委員)

うちの子も家に帰ってくるまでに一人になる道があるので、そこにいてもらえるとすごく助かる。また、隣の地区では元会長さんらが朝も夕方も付きっきりで登下校してくれている。PTAなどと一緒に見守り隊の人に何かお礼をする日など、何か返していけたらいいと思う。

(委員)

2 ページ「⑥健康で安全な妊娠と出産のために」の「不妊・不育症治療に対する助成制度の広報」に関して、この制度を利用するに当たって、悩みながら利用している方もいるかと思いますが、そういった声を役場で聞いているのか。

(委員)

初回の相談はやはり医療機関で相談される方が多い。ただ、県のほうでは専門職による電話相談や来所相談などの相談事業をやっている。また、町のほうでも具体的な手続きや、妊娠後には他の方と同じように妊婦訪問などの形で不妊治療をされたお話を伺えば、そこはより丁寧にといいことで関わるようには心掛けている。

「第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画」中間年の見直しについて

議題2 「第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画」中間年の見直しについて

(説明：事務局)

【要点】

前回の会議において、計画書と実績についてご覧いただき、見直し対象の事業をご確認いただいた。改めて方針を申し上げますと、量の見込みと実績値が乖離しているもの、具体的にはプラスマイナス10%以上の事業について見直しの対象と定義している。

【質疑応答】

(委員)

14 ページ 放課後児童クラブは、確保数は問題ないと説明があったが、表の見方として、②-①でプラスになっているということは定員内で収まっているということか。

(事務局)

量の見込みよりも確保方策の数字が上回っているので足りているという考え方となる。

(委員)

当社の従業員で、「保育園を卒業し、1年生の子が児童クラブに入れなかったから仕事を時短にしたい」と言っていた者がいるが、カウントされているのか。

(委員)

母里小学校の放課後児童クラブはあふれてしまっていて、その分は加古小学校の児童

クラブに行っていると聞いた。

(事務局)

こちらの資料について、時点や集計方法についてこの場での回答が難しいことから、事務局で確認させていただいた上で、後日回答させていただきたい。

(委員)

例えば、母里小学校の児童クラブは確保方策が 38 あるが、これは定員からの 1.15 倍の計算で算出しているのか。

(事務局)

確認して、併せて後日回答させていただく。

(委員)

21 ページ ファミリー・サポート・センター事業に関して、使いたかったが使えなかったという話を最近周りでよく聞く。この計画には、これらの声は反映されているのか。令和 4 年度の量の見込みが 160 人になっているが、提供会員は 27 名と下に書かれている。提供会員が 27 名では足りていないように感じるが、提供会員を増やすための取り組みは何かあるか。また、マッチングしにくい時間帯の方もいると思われるが、実際どれぐらいの方たちが動いているか。

(事務局)

令和 3 年度の実績に基づいて、恐らくそれぐらいのご要望があると見込んでいる。委員の言うとおりの、本事業は相互支援の事業で、預けたい理由がある方と、その日時に預かる体制がとれる方というところがマッチングしてこそ成り立つ。提供会員の中で例えば平日、土日、時間外も含めて稼働できる方、日にち指定で協力いただける方など、できるだけ多くの登録を募りつつ受け入れられるキャパシティを上げていき、柔軟に対応できるように工夫している。

(会長)

ファミリー・サポート・センター事業の量の見込みで、令和 4 年だけ 160 人と突出しており、その後は減らしてあるが、これでよいのか。もし令和 4 年度が増えるのであれば、令和 5、6 年が減ることはあまりないのかなと思ったので。

(事務局)

こちらの数値について、「いなみっこ広場」のほうで実績に基づいて見込んでいる数値と聞いている。事務局では、数字のとりまとめを行っており、中身については担当課でないと分かりにくいところがあるため、確認をさせていただく。妥当な数字が出るのであれば修正し、お示ししたい。

今後のスケジュールと議題について

**議題 3 今後のスケジュールと議題について**

(説明：事務局)

**【要点】**

今回ご確認いただいた内容を基に、12 月頃にパブリックコメントを実施する。住民の皆さんの意見を踏まえ、必要に応じて反映をしていきたい。

最終の完成した計画(案)を次回の第 3 回子ども・子育て会議(1 月開催予定)でご確認いただきたい。

また、本日いただいた意見のうち、回答できなかったものについては、調査し報告さ

	<p>せていただくので、併せてご確認いただきたい。</p> <p><b>【質疑応答】</b> 意見無し</p>
<p>閉会 15:00</p>	<p>閉会のあいさつ</p> <p>解散</p>

## 後日回答

No.	質問内容	回答
1	<p>資料2 P15</p> <p>母里小学校の児童クラブは確保方策が38人であるが、これは定員からの1.15倍の計算で算出しているのか。</p>	<p>確保方策（38人）の根拠としては、施設の面積を一人当たりに必要な面積で除して確保方策（定員）を算出しています。</p>
2	<p>資料2 P15</p> <p>放課後児童クラブは、見直し対象ではないと説明があったが、表の見方として、②-①でプラスになっているということは定員内で収まっているということか。母里小学校はあふれているので利用できなかったが。</p>	<p>放課後児童クラブ事業については、「量の見込み」と「実績値」にかい離がなかったことから、今回の見直しの対象になっておりません。質問されていたP15の②母里小学校の表については参考として掲載していた「量の見込み」（推計値）の表であり、実績とは異なります。</p> <p>委員のご指摘のとおり、現状母里小学校の放課後児童クラブは最大定員に達しているため、他の小学校の放課後児童クラブへ通われているケースがあるようですが、町全体ではかい離していないこと、確保方策は施設面積から算出しているため、受入数の拡大が困難なことから、現状の「量の見込み」を維持することとします。</p>
3	<p>資料2 P15</p> <p>当社の従業員で、「保育園を卒業し、1年生の子が児童クラブに入れなかったから仕事を時短にしたい」と言っていた者がいるが、カウントされているのか。</p>	<p>現状の「量の見込み」を維持することとします。</p>
4	<p>資料2 P21</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業の「量の見込み」で、令和4年度だけ160人回と突出しており、その後は減らしてあるが、これでよいのか。令和4年度が増えるのに、令和5、6年度が減ることはあまりないように思うが。</p>	<p>令和4年度の「量の見込み」160人回については、令和4年度上半期の実績を2倍した数値となっています。実績増加の理由としては、週に複数回利用される方がおられるためであり、次年度以降も継続して利用されるかは不明であることから、次年度以降の「量の見込み」については例年程度としております。</p>